

# ☆ほしのマガジン☆

NO.59

発行：星野しゅんじ後援会

〒492-8143 稲沢市駅前3丁目2-21

TEL/FAX 0587-32-9905 E-mail: shunji@pastel.ocn.ne.jp

ホームページ <https://shunji-hoshino.com/>



## ～ごあいさつ～

今年の春は、いつもより寒暖差がありましたが、いかがお過ごしでしょうか。皆さまにおかれましては、新年度を迎え新しい生活に慣れてきたことと存じます。

2022年の年明けから2ヵ月続いた「まん延防止等重点措置」と2年以上のコロナ禍での生活は、私たちの生活様式や働き方に大きく変化をもたらしました。特に、様々な行政サービスのデジタル化の加速で、戸惑いやご意見をいただきました。しかし、誰一人取り残すことなく、認め合う、支え合う社会の方向性には変わりはありません。その方向性を大切に市民の皆さまの生活を守り、地域課題を解決し、地域の経済対策も進めていきます。

私たちの生活はマスク着用など新しい生活様式が定着して、ワクチン接種も進んでいますが、引き続き、コロナ感染予防策の徹底をお願いします。

1月臨時会、3月定例議会、4月臨時会のご報告をします。ご意見、ご感想をいただけたら幸いです。



稲沢市議会議員 星野 俊次

## ～1月臨時会～

1月臨時会を1月21日に開催しました。市長から提出された議案は、令和3年度稲沢市一般会計補正予算（14億6,770万円）があり、原案通り可決しました。

## ★補正予算内容

### ☆住民税非課税世帯等臨時特別支援事業 12億3,600万円

内容：国の決定に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円を支給する。

### ☆子育て世帯等臨時特別支援事業 （市単独給付） 2億2,160万円

内容：国が実施する子育て世帯への臨時給付金において、所得制限により対象外となる世帯に対し、18歳以下の子1人あたり10万円給付する。  
※所得制限内については、国が負担

### ☆大里東第2児童クラブ整備事業

1,010万円

内容：利用増加が見込まれる大里東児童クラブに、新たなクラブ室を建設するための経費。  
開所予定：令和5年4月



## ご意見・ご要望をお待ちしています！

市政に関するご意見、ご質問がありましたら「星野事務所」  
（TEL/FAX:0587-32-9905）までご連絡ください。

E-mail shunji@pastel.ocn.ne.jpでも受け付けています。

【プロフィール】

1975年愛知県稲沢市生まれ 47歳

稲沢市議会議員（5期）

議会活動：経済建設委員会委員、議会改革推進特別委員会委員



稲沢勝手に  
応援団長  
ほし☆のん

家族 妻と一男一女の四人家族

## ～ 3月定例議会～

3月定例議会は、3月4日から3月24日までの会期で開かれました。市長から提出された議案は、「令和4年度一般会計予算」など23件、報告1件、「稲沢市名誉市民の推挙について」など同意案3件をいずれも原案を可決・同意しました。また、「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」については、全会一致で可決しました。

## ★令和4年度の主な新規（拡充）事業

### ☆重層的支援体制整備事業 3億2,544万円

内容：地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、高齢、障がい、子ども、生活困窮の相談・地域づくり関連事業については、一体的かつ重層的に整備する。

### ☆三世代すまいる支援事業 2,000万円

内容：定住促進支援事業として、三世代同居・隣居のため住宅新築工事に対して補助する。

※補助上限50万円



### ☆保育園ICT化事業 4,580万円

内容：保育士の業務負担の軽減を図り、保育士が働きやすい環境を整備するとともに、保育サービス向上を図るため、タブレットPCを導入し保育業務のICT化を推進する。

### ☆稲沢ライトアップ整備事業 1,000万円

内容：夜間通行時における道路危険箇所を解消するため、交差点や横断歩道に道路照明が整備されていない名鉄国府宮駅周辺等に交通安全灯を14基整備する。

### ☆創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」運営事業 732万円

内容：アフターコロナを見据え、社会経済環境が大きく変化する中、創業者の支援、事業者の施策利用の相談窓口として、創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」を設置する。



### ☆申請書作成支援システム導入 854万円

内容：市民課及びおくやみコーナーにおいて、運転免許証等の券面情報を自動転記し、申請書の作成をサポートするシステムを導入する。

### ☆電子図書館導入事業 510万円

内容：図書館へ来館せずに電子図書（1,000点）を借りられ、障がい者サービスとしての活用も期待できる電子図書館を導入する。



### ☆多胎児支援費用助成事業 150万円

内容：多胎児を出産した保護者に対する経済的支援として助成金を支給する。

※双子10万円

（以降1人増えるごとに10万円加算）



### ☆特殊詐欺対策装置購入費補助 50万円

内容：特殊詐欺対策装置の設置を促進し、高齢者の特殊詐欺による被害防止を図るため、購入費用に対して補助する。

※購入費用の2分の1補助（上限5千円）

### その他予算関係

#### ・公衆無線LAN設置事業

設置予定施設：図書館、美術館、公民館等 26施設 172万円

・電気自動車配置事業：市役所、祖父江支所、平和支所に購入 1,225万円

・ウィッグ等購入費用助成事業：費用購入の2分の1補助（上限2万円） 100万円

・単独調理場給食費公会計化事業：小学校11校、中学校7校 3億5,570万円



## ～一般質問の内容～

3月11日に一般質問を行いました。下記の通り、質問概要をまとめました。

### 【発言通告内容】

1. 施政方針について
2. 稲沢市民病院について

※ 3月定例議会の一般質問を  
右記QRコードから見るこ  
とができます。



### 【質問】

来年度の一般会計の当初予算規模は、令和2年度を除きコロナ禍前の規模に戻りつつあるが、歳入確保にはどのような工夫をしたのか

### 【稲沢市の考え】

令和4年度の予算編成は、市税収入がコロナ禍以前とまでは至っていないものの、回復傾向にあることから前年度から13億1,500万円の増額、地方交付税が国税収入の増加により前年度から9億2,000万円の増額となった。対象事業を、合併特例債から緊急防災・減債事業債に振り替えるなどし、財源確保に努めた。不足する財源は、財政調整基金16億5,000万円をはじめ基金繰入金21億4,807万7,000円を計上して対応した。



### 【質問】

アクション2022（推進計画：前期）の評価と課題、今後の考え方について

### 【稲沢市の考え】

アクション2022の36の戦略事業のうち、前期推進計画期間中に事業着手、または事業完了となるなど達成した事業は33事業である。しかし、名鉄国府宮駅周辺再整備、住居系市街地の拡大などの「定住促進」をはじめとした人口減少対策に関連する事業が芳しい状況でない。

アクション2022における最大の課題は、加藤市長が施政方針にて述べている人口減少対策、「いかに人口の流出を抑制し、転入人口を増加させるか」、その事業推進であると認識している。

さらに、「コロナ対応」、「デジタル化」、「カーボン・ニュートラルの実現」といった社会情勢や市民ニーズの変化については、アクション2022（推進計画：前期）の進行管理を行う際にも対応に努めていたが、アクション2027（推進計画：後期）を策定するにあたり、そうした課題の対策についても、しっかりと具体的な事業として位置づけし、後期推進計画期間中での全庁的な推進に努める必要があると考えている。加えて、後期推進計画期間中はコロナ禍からの経済の回復状況等が不透明であるため、厳しい財政状況が見込まれる。持続可能な行政運営を行うために、『稲沢市公共施設等総合管理計画』に基づく公共施設の再編・適正化について、引き続き、取り組むべき事業として位置づけていく。



### 【質問】

自治体を狙ったサイバー攻撃へのセキュリティ対応への取り組み状況とその業務継続計画について

### 【稲沢市の考え】

複雑化、巧妙化するサイバー攻撃が多発するなか、本市の主なセキュリティ対策は、平成28年、国の指示によりネットワークの3層分離を行い、個人情報扱う基幹系システムとともに、内部事務系に関しても外部ネットワークとは分離した閉域環境を構築し、外部からのアクセスを遮断している。一方、外部と接続するインターネット系パソコンでは、ウィルス対策システムの導入に加え、県が運用する高度なセキュリティ環境が構築された「あいち情報セキュリティクラウド」に参加することでセキュリティを担保している。

サイバー攻撃に備えた業務継続計画の整備については、令和3年3月に策定した、大規模地震等の発生を想定し、情報インフラ復旧に向けた行動計画を規定する「稲沢市情報推進課業務継続計画（稲沢市ICT-BCP初動版）」に加え、サイバー攻撃等による情報インシデントが発生したときに備え、「稲沢市情報セキュリティポリシー」において、被害状況の把握、復旧に係る暫定措置、関係機関への連絡など緊急時対応手順を定めている。業務継続計画と整合性を図りつつ、複雑化するサイバー攻撃に対応できるよう、最新の事例等を踏まえ手順書の見直し等を行っていく。



## 2. 稲沢市民病院について

### 【質問】

許可病床（42床）の返還に伴う市民病院への影響と対応について

### 【稲沢市民病院の考え】

市民病院は、平成26年11月に、急性期病床320床で新築移転した。しかし、現在の稼働病床は、急性期病床196床、地域包括ケア病床46床の計242床である。残りの78床は令和元年10月に一時的に休床し、その後新型コロナウイルス感染症拡大などにより現在も休床中の3階北病棟32床と、新病院開院時から休床を続けている4階北病棟46床になる。令和4年3月現在の常勤医師数は37人で、開院時と変わりなく、今後も、全病床の稼働は難しい状況である。



そのため、非稼働病床の有効活用を検討する中で、急性期病床42床を返還し、4階北病棟と南病棟を一体的に利用することにより、4階に「転倒骨折センター」を令和4年5月開設する計画を進めている。

### 【質問】

サイバー攻撃等の備えと診療業務継続計画の策定状況について

### 【稲沢市民病院の考え】

稲沢市民病院のランサムウェア等のサイバー攻撃を防ぐための対策としては、電子カルテシステムなどの医療情報ネットワーク回線と、ウェブの閲覧や電子メールに接続するインターネット回線を完全に分離するとともに、それぞれの端末に最新のウイルス対策ソフトを導入している。また、電子カルテ用・インターネット用の端末には、USBメモリーなどの電子記録媒体を使用できないようにしている。

サイバー攻撃等に備えた診療業務継続計画は今のところ整備していないが、厚生労働省が定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の改定が行われる予定という報道もあるので、今後その内容を踏まえて考慮していく。

### 【質問】

病院事業管理者としての市民病院の方向性について

### 【病院事業管理者の考え】

稲沢市民病院の果たすべき使命は、尾張西医療圏で、稲沢市域における急性期医療を担うこと。そして、今後の超高齢社会において、回復期機能も果たしていくことである。医師の確保に力を尽くし明確なビジョンのもと、病院機能の充実に努め、今後の地域に信頼される病院を目指し、職員一丸となって取り組んでいく。

## ～ 4 月臨時会 ～

4月臨時会を4月11日に開催しました。市長から提出された議案は、稲沢市税条例等の一部を改正する条例についてなど6件、令和4年度稲沢市一般会計補正予算（2億2,510万円）があり、原案通り可決しました。

## ★主な補正予算内容

### ☆新型コロナウイルス対策商品券発行事業

1億9,900万円

目的：With/Afterコロナにおいて、地域経済の活性化を推進するため、プレミアム付き商品券「ワクワク いなざわ応援券」を発行する。

内容：販売額 1セット3,000円 額面額 500円券×12枚＝6,000円分（プレミアム率100%）

券の種類：「飲食・一般店専用券」 500円券×6枚＝3,000円分

「共通券」 500円券×6枚＝3,000円分

※「飲食・一般券」は、令和3年度「いなざわ飲食・商店エール券」同様。

購入方法：1次販売：稲沢市内に居住する世帯につき、1世帯1セット購入可（56,000世帯）

販売期間：令和4年6月27日（月）～7月31日（日）に郵便局等で販売。

購入引換券を6月下旬より郵送で全世帯へ配布予定。

2次販売：1次販売の残数を抽選販売。稲沢市に居住する希望者が申し込み可。

1人1セット申し込み可。

申込期間：令和4年8月1日（月）～8月15日（月）

申込方法等：入力フォームまたは往復はがきで申し込み（9月1日抽選）

使用期間：令和4年7月1日（金）～12月31日（土）

※詳細は、広報やホームページでご確認ください。